

# 変革の歴史 (2005年度～2014年度)

日立は、2014年度 (2015年3月期) に2年連続で営業利益の過去最高益を達成しました。

日立は、「2015中期経営計画」の目標達成とその先の成長に向け、グローバル市場をリードする企業への変革 (Transformation) を加速し、企業価値の向上に努めています。

## 事業ポートフォリオ改革

### 2005年度～2009年度

#### 強化

- ・ クラリオンを連結子会社化
- ・ GEと原子力発電システム事業の合併会社を設立
- ・ 日立国際電気を連結子会社化
- ・ 日立工機を連結子会社化
- ・ 上場子会社5社\*を完全子会社化

\*日立情報システムズ、日立ソフトウェアエンジニアリング、日立システムアンドサービス、日立プラントテクノロジー、日立マクセル

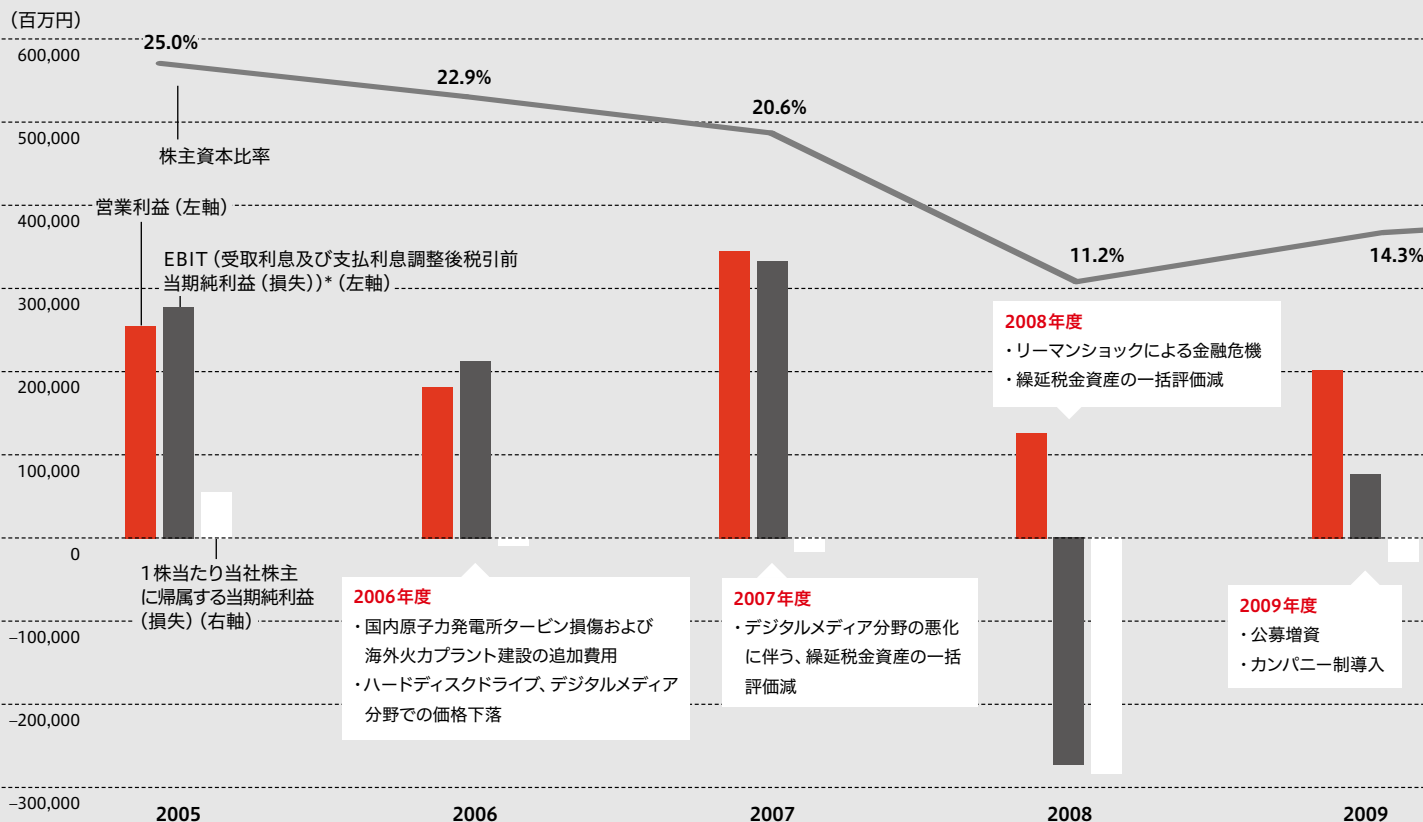
#### 転換

- ・ 精密小型モータ事業を日本電産 (株) に売却
- ・ コンシューマPC事業から撤退
- ・ シンガポールの半導体製造子会社を半導体ファウンドリ会社に譲渡

### 2010年度～2012年度

#### 強化

- ・ 三菱電機 (株)、三菱重工業 (株) と水力発電システム事業の合併会社を設立
- ・ 米国のネットワークストレージ事業会社ブルーアーク社を買収
- ・ 変電・配電事業の合併を解消
- ・ 英国の原子力発電事業開発会社を買収



\* EBITは、税引前当期純利益 (損失) から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。

EBITは、Earnings Before Interest and Taxesの略です。

(注) 数値はすべて米国会計基準

## 2013年度～2014年度

### 転換

- プラズマディスプレイパネル工場をソーラーフロンティア(株)に譲渡
- 半導体事業持分法適用会社ルネサステクノロジがNECエレクトロニクス(株)と統合
- テレビ用大型液晶パネル事業をパナソニック(株)に譲渡
- 携帯電話事業持分法適用会社カシオ日立モバイルコミュニケーションズが日本電気(株)の携帯電話事業と統合
- ハードディスクドライブ事業をウエスタンデジタル社に譲渡
- 中小型液晶事業を(株)ジャパンディスプレイに統合
- 薄型テレビの自社生産を終了

### 強化

- 日立プラントテクノロジーを吸収合併
- 日立金属と日立電線が合併
- 三菱重工業(株)と火力発電システム事業の合併会社を設立
- 日立メディコを完全子会社化
- インドの金融機関向け決済サービス提供会社プリズムペイメントサービス社を買収
- ジョンソンコントロールズ社と空調システム事業の合併会社の設立に合意
- ABB社と日本の高圧直流送電事業で戦略的パートナーシップ関係を構築
- 日立データシステムズが米国のビッグデータアナリティクスソフトウェア事業会社ベンタホ社を買収に合意
- フィンメカニカ社の信号・車両部門の買収に合意

### 転換

- プリント基板加工機事業を投資ファンドに譲渡
- 日立マクセルが株式再上場
- 情報・通信機器向け半導体製造事業を終了

